

## 御前崎分屯基地で中学生が防災を学ぶ

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・武田恭一 一等空佐）静岡募集案内所は、12月8日（水）、航空自衛隊御前崎分屯基地（御前崎市）において行われた、静岡北中学校（静岡市）の基地見学を支援した。

これは、同校のキャリア教育の一環として職業観を養う目的で行われ、2年生70人が参加した。

当日は、同分屯基地司令・村田一公2等空佐の挨拶に続き、基地の隊員が航空自衛隊の職種や、同分屯基地ならではのリーダーサイトの任務などを紹介した。

また、東日本大震災や伊豆山土砂災害などの災害派遣活動について、航空自衛隊員が災害救助犬とともに行方不明者の捜索を行ったことや、ドローンを使った情報収集、陸上自衛隊が人命救助をもとより、復旧や生活支援を行う態勢を保持し、被災者の心に寄り添った支援を行っていることを伝えた。

最後に、原子力災害に対応できる防護服や放射線量計など、あらゆる事態を想定した装備品をはじめ、コンクリートカッターやファイバースコープなど災害派遣で使用する装備品を紹介し、生徒たちに実際に触れてもらった。

見学を終えた生徒たちは「災害派遣の話聞いて、普段からの災害への備えが大事だとわかった」と感想を話していた。

静岡地本は、今後も学校と連携し、生徒の職業観の育成の一助となり、防災意識の高揚を図れるような場を設けていく。



## 磐田市の軽トラ市でブース展示

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・武田恭一 一等空佐）袋井地域事務所は、12月12日（日）、JR磐田駅前で行われた「みんなで軽トラ市いわた☆駅前楽市」で自衛隊のブース展示を実施した。

このイベントは、地元商店街や磐田市商工会議所などでつくる実行委員会が主催したもので、年4回行われている。

袋井所からは菊地貴文2等陸曹と山下亮3等海曹が参加し、同市の自衛官募集相談員である石丸寛氏協力のもと、駅前通りの一角に自衛隊の広報ブースを設置し、自衛隊の職種紹介、自衛隊関連グッズの配布などを行なった。

当日は天候にも恵まれ、草地博昭市長をはじめ6000人以上の来場者があり、自衛隊の広報ブースも盛況であった。中でもオリジナル缶バッジの配布は子供たちに大人気で、イベント開始1時間後には早くも配布終了となった。



広報ブースを見に来たという来場者からは「私たちの生活を守ってくれているのが自衛隊。敵しいこともあるでしょうが、どうか頑張ってください」と、自衛隊を激励する声も多く聞かれた。

静岡地本は、今後も自衛隊への認識や理解を深めてもらえるよう広報活動を継続し、防衛基盤の強化に邁進していく。